

# 平成18年度の重点事業

(単位:千円)

事業名	予算額
<b>■新市の均衡ある発展に向けて</b>	
①総合計画及び各種個別計画の策定	
・総合計画策定費	2,595
・都市計画マスタープラン策定費	6,825
・環境基本計画策定費	3,500
②安全安心のまちづくり基盤施設の整備	
・新消防本部庁舎など整備事業費*	87,000
・西中学校校舎改築事業費*	18,606
③新しい交流空間の整備	
・市民ひろば整備事業費*	61,521
・土器川生物公園アクセス道路整備事業費*	8,000
④コミュニティの推進や新しい市民との連携	
・飯山地区などコミュニティセンター施設整備事業費	102,329
・ケーブルテレビのエリア拡大事業費(綾歌・飯山地区)	100,000
・地域市民活動促進事業費(提案型協働事業など)	6,692
<b>■都市及び生活基盤施設の整備</b>	
・中津土器線(さめぎ浜街道)の4車線化事業費	309,000
・生活関連道路整備事業費	313,175
・土地改良事業費	201,345
・コミュニティバスの運行充実事業費	161,517
<b>■子育て、教育環境の整備</b>	
・城辰保育所子育て支援センターなどの整備事業費	28,400
・飯山地区放課後児童クラブ保育室の整備事業費	37,866
・小中学校、幼稚園の施設整備及び耐震診断事業費など	497,037
<b>■環境対策の推進</b>	
・住宅用太陽光発電システム設置事業補助金	20,000
・公共下水道及び農業集落排水施設建設事業費	1,303,104
・合併処理浄化槽設置推進事業費補助金	161,345
・本島町林野火災跡地森林再生事業費	2,680
<b>■防災対策の推進</b>	
・自主防災組織の育成(防災訓練など)事業費	18,307
・丸亀港耐震強化岸壁の整備事業費	70,928
・高潮対策(丸亀港、島しょ部)の推進事業費	21,010
・国民保護計画策定費	5,397

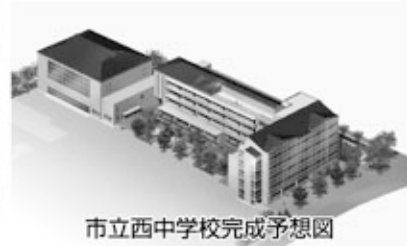
※は合併特例債活用予定事業

## ■一般・特別・水道事業会計の規模

会計	予算額	前年度比(%)	
一般会計	353億8,000万円	▲6.6	
特別会計	競艇	652億6,000万円	27.6
	国民健康保険	101億3,700万円	▲0.9
	国保診療所	1億6,240万円	10.3
	公共下水道	33億500万円	▲15.4
	駐車場	2億9,600万円	8.0
	老人保健	119億5,600万円	7.0
	介護保険	60億1,380万円	2.4
	農業集落排水	4億1,000万円	▲12.5
	養護老人ホーム	2億8,440万円	▲9.5
	水道事業会計	37億8,840万円	8.1

国の地方財政計画により、なお流動的な部分があります。また、三位一体改革により国庫支出金も削減されるなど、極めて厳しい状況となっております。このため、不足財源の対応については、基金からの繰入金や他会計からの貸付金返還金などで対応することとしています。

職の給与カットなどにより退職手当を除く人件費総額では、5%の減額となっております。このほか公債費についても償還ピークを過ぎたことから減額傾向となっております。一方、扶助費については、児童手当の支給拡充や対象者の増加などにより六・八%の増額となっております。従って、義務的経費の総額では前年



市立西中学校完成予想図

# 改革元年

## 持続可能な財政基盤の確立に向けて

平成18年度  
一般会計  
当初予算

# 353億8,000万円

(前年度比▲6.6%)

# 財政再建

### ■一般会計予算・歳入・構成比

区分	予算額	構成比(%)	前年度比(%)
市税	122億3,956万円	34.6	2.0
地方譲与税	11億9,930万円	3.4	51.6
利子割交付金	6,000万円	0.2	▲17.8
地方消費税交付金	10億円	2.8	0.0
自動車取得税交付金	2億円	0.6	▲2.0
地方特例交付金	3億2,000万円	0.9	▲27.5
地方交付税	68億9,200万円	19.5	▲0.4
分担金及び負担金	7億5,103万円	2.1	15.8
使用料及び手数料	9億7,156万円	2.7	3.3
国庫支出金	32億7,746万円	9.3	▲5.1
県支出金	18億6,365万円	5.3	0.1
財産収入	3億2,289万円	0.9	▲54.2
繰入金	19億9,791万円	5.6	▲27.6
諸収入	21億742万円	5.9	▲9.3
市債	21億920万円	6.0	▲34.1
その他	6,802万円	0.2	▲87.8
歳入合計	353億8,000万円	100.0	▲6.6

### ■一般会計予算・歳出・目的別構成比

区分	予算額	構成比(%)	前年度比(%)
議会費	3億8,233万円	1.1	5.8
総務費	47億4,569万円	13.4	▲16.7
民生費	121億1,818万円	34.3	4.0
衛生費	37億2,503万円	10.5	▲11.4
労働費	2億3,357万円	0.7	▲3.7
農林水産業費	8億7,518万円	2.5	2.9
商工費	4億5,402万円	1.3	▲40.2
土木費	33億7,819万円	9.5	▲25.9
消防費	13億6,905万円	3.9	1.8
教育費	41億2,041万円	11.6	▲2.1
公債費	38億8,834万円	11.0	▲0.3
諸支出金	4,001万円	0.1	▲20.0
予備費	5,000万円	0.1	0.0
歳出合計	353億8,000万円	100.0	▲6.6

本格的な地方分権時代の中、合併二年目を迎え、将来に向けて市政発展の基盤づくりを進めなければなりません。しかしながら、本市を取り巻く財政環境は、予想を上回る歳入不足に直面しています。

そこで、本市は行財政改革推進計画の策定に合わせ、財政再建に向けて「丸亀市財政健全化計画」の策定を進めてきました。計画の内容として、平成十八年度から三年間を集中財政再建期間と位置付け、行政コストの徹底した削減を図る行財政改革の断行とスピードアップに取り組むこととしています。

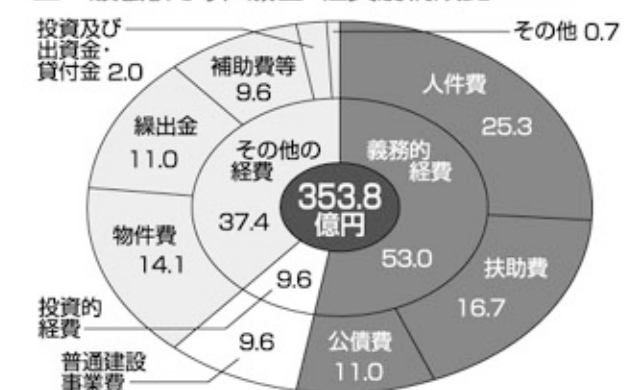
平成十八年度予算については、財政再建のスタートとなるよう徹底した歳

出の圧縮を図り、歳入に見合った財政構造への転換に向けて取り組みます。さらに、ねん出した財源の効果的かつ重点的な配分により、市民サービスの維持・向上に努めます。

今年度の予算規模は、前年度に比べ六・六%減の三百五十三億八千万円となっております。

次に歳入と歳出の特徴について見ていきましょう。

### ■一般会計予算・歳出・性質別構成比(単位:%)



特別会計は、競艇事業をはじめ九会計の総額は、九百七十八億二千四百六十万円で十七・一%の大幅な増額となっております。

これは競艇事業会計において、平成十八年十一月にSGレースである競艇主チャレンジカップ競走の開催費を計上したことによるものです。

以上、平成十八年度は、まさに「改革元年」と位置付け、持続可能な財政基盤の確立に向け、限られた財源の重点的かつ効果的配分に努めましたので、ご理解とご協力をお願いします。



11月ESGLレースを開催する丸亀競艇